

1. 科目名 (単位数)	児童生徒指導論 (進路指導を含む) (中等) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2448 SNMP2448 SCMP2448 SBMP2448 EDTS2106 EDTS2306
2. 授業担当教員	金 龍哲		
4. 授業形態	講義、グループワーク、事例研究、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特に設けない。		
7. 講義概要	<p>本科目の目的は、学校における生徒指導の意義・理論及び方法を理解した上で、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることである。また、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を理解した上で、児童生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むために必要な知識・技能や素養を身に付けることである。</p> <p>さらに、個別の課題を抱える児童生徒に対する指導のあり方について、事例をとおして理解を深め、現場で役立つ理論的・実践的なセンスや能力を養うことを目指す。</p>		
8. 学習目標	<p>本科目の目的を達成するために、以下の到達目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンスの機能の充実による生徒指導の意義・役割について理解する。 2. 生徒指導 (教育相談を含む) の進め方や生徒指導の方法を理解する。 3. 進路指導の意義・方法及びキャリア教育のねらい・進め方について理解する。 4. 生徒指導に基づく学級 (ホームルーム) 経営の方法及び配慮事項等について理解する。 5. 事例研究を通じて、生徒指導上の諸問題への対応策・改善策について学ぶ。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>本講義は受講生のこれまでの学校での生活体験を学習に生かすことを重要視する。授業で扱う内容を自らの体験や現場の実践事例と結び付けて理解し、説明すると同時に、指定された課題についてレポートを作成し、発表・討論をおこなう。予定している課題は以下のとおりである。</p> <p>課題①：不登校、いじめ、学級崩壊…などの生徒の問題行動を扱うテーマを設定し、学んだ理論と方法を用いて診断を行い、対策案をまとめる (発表&討論)</p> <p>課題②：校則の国際比較から「自己指導力の育成」の課題を考える (発表&討論)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書 安達未来・森田健宏編『生徒指導・進路指導』ミネルヴァ書房、2020年。</p> <p>参考書 文部科学省『生徒指導提要』教育図書、2011年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導及び進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解しているか。(知識・理解) 2. 生徒指導及び進路指導・キャリア教育に関する今日的課題に関心をもち、自ら進んで課題解決に向けて取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) 3. 生徒指導及び進路指導・キャリア教育の指導の進め方に関する理論を理解した上で、個別の事例に対する指導のあり方について具体的な提案をすることができたか。(思考力・判断力・表現力) <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的参加度 (発言、討議、取り組み等) 総合点の30% 2. レポート等 (小課題、試験を含む) 総合点の70% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>生徒指導は学習指導とともに学校教育の両輪を成します。子どもを取り巻く社会環境が目まぐるしく変化する中、生徒指導が直面する課題は複雑であり、教師に適切な対応が求められています。この授業では、生徒指導や進路指導の在り方について、皆さんの実体験を生かしながら学んでいきます。と同時に、今、学校現場で直面している様々な課題を取り上げ、内外の教育改革の動向にも注目しつつ、みんなが協力して学習に取り組み、全員が当事者意識をもって共に授業を作っていくことを目指したいと思います。</p>		
13. オフィスアワー	木曜日 12:30-13:30 メールでの対応は随時可		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	導入 学校教育における生徒指導の位置づけ 体験から考える生徒指導 (討論)	事前学習	今までの学校生活を振り返り、その体験を整理して授業に臨む
		事後学習	実体験に基づく生徒指導への大まかな理解を言語化してまとめる。
第2回	生徒指導の概念と目的、領域と内容	事前学習	予習:「生徒指導の意義と原理」 pp.33-33
		事後学習	自らの体験を、授業で学んだ内容と照らし合わせて概要をまとめる。
第3回	生徒指導と教科・道徳・特別活動との関連	事前学習	予習:「教育課程と生徒指導」 pp.34-45
		事後学習	生徒指導が各教科との相乗効果を確認し、すべての教育活動を通して行う生徒指導の原則をまとめる。
第4回	学校における生徒指導推進体制の確立と評価	事前学習	予習:「学校における生徒指導推進体制」 pp.46-61
		事後学習	生徒指導は、生徒指導主事や学級担任だけでなく学校の全教職員の協力体制が必要であ

			ることを理解し、生徒指導と校務分掌の関係性を整理する
第5回	生徒指導に関する法と制度、規範意識	事前学習	予習:「生徒指導に関する法や制度と規範意識の育成」pp.62-75
		事後学習	生徒指導に関する法や制度、またそれとかわる規範意識についてまとめる。
第6回	児童・生徒の発達に応じた生徒指導の在り方	事前学習	予習:「発達と生徒指導」pp.50-69
		事後学習	各発達段階の特徴と、それに応じた生徒指導の在り方の要点をまとめる
第7回	個別の課題を抱える児童・生徒への対応	事前学習	予習:「個別の課題と対応」pp.90-101
		事後学習	個々の児童・生徒が抱える可能性のある課題の概要を理解し、具体的な対応策の手順をまとめる。
第8回	教育相談と生徒指導	事前学習	予習:「教育相談と生徒指導」pp.104-113
		事後学習	「相談」と「指導」の共通点と差異を理解し、それぞれの進め方の特徴をまとめる。
第9回	学校と家庭・地域及び関係機関との連携	事前学習	予習:「学校と家庭・地域・関係機関の連携」pp.116-128
		事後学習	学校と家庭・地域との連携、専門職や関係機関との協力がなぜ必要かを理解し、その連携体制の要点をまとめる
第10回	収集した問題行動の事例に関する討議と分類	事前学習	関心のある生徒の「問題行動」について事例収集を行う
		事後学習	生徒の「問題行動」（不登校、いじめ、学級崩壊…などについて討議し、レポートの題材を選定する
第11回	レポート発表とディスカッション	事前学習	選定した題材に対して、学んだ理論と方法を適用して独自の診断を行い、対策を提案する(レポート作成)
		事後学習	発表と討論を通して気づいた点を整理する
第12回	自由討論:「校則」を考える	事前学習	自ら体験した校則を整理する
		事後学習	校則をめぐる世論や授業での議論に基づいて、校則の在り方について自分なりの考え方を形作る。
第13回	生徒指導と進路指導に関係—キャリア教育を生かした進路指導	事前学習	予習:「キャリア教育を活かした進路指導」pp.130-142
		事後学習	生徒指導と進路指導との関係性を整理し、進路指導の目的、理念、領域、内容等をキャリア教育の視点からまとめる
第14回	現代における児童・生徒のキャリア間の育成	事前学習	予習:「キャリア観の育成」pp.198-212
		事後学習	変化の激しい現代社会の諸特徴を整理し、そこに生きる子どもたちのキャリアプランニングの在り方をまとめる。
第15回	自己指導力をはぐくみ、自己実現を支援する生徒指導、自己実現の可能性を育む進路指導の在り方について議論しまとめる	事前学習	業で学んだ理論や方法について整理する
		事後学習	生徒の自己実現を支援する指導の在り方とは何か、授業で学んだ知識を生かして自らの見解を構築する
期末試験			